

としょかんだより



市立竹原書院図書館
竹原市中央4丁目7番11号
TEL 22-0778
FAX 22-1072

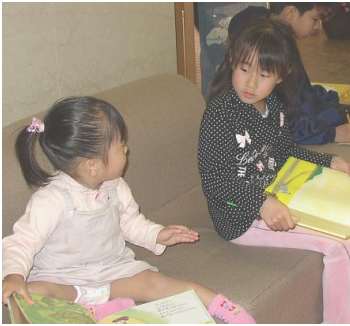
<http://takeharashoin.jp/> 携帯用: <http://takeharashoin.jp/mobile/>

ようこそ！ みんなの図書館へ

この星には 本がある (子どもの読書週間の標語)
人類は石器時代からすでに洞窟に絵を描き、エジプトのピルスを使った文章も残っています。紀元前三世紀、エジプトの首都アレキサンドリアにはすでに立派な図書館が存在していました。人類はことばを使い、文字を生み出して、それによって科学は発展してきました。とは言え、人類はいまだ“識字”教育を進めなければならぬ地域を沢山かかえています。

“この星には 本がある”という標語を読んで、そんなことを思いました。

日本ではすでに識字率九十九%(限りなく一〇〇%に近い)のようですが、文字が読めることと、本を読む行為は又別のことのようにです。少なくとも日常的に本に囲まれた生活は少なく、学校関係の図書室なぜか学校図書館といわれないは人的事情とあいまって、常に子どもたちに開放されているとは言いがたい、そんな中で図書館は唯一、地域社会にあって、あかちゃんから全ての人々を受け入れ、人々の様々な知的好奇心、知識を広げる扉として開放されているところです。そして、“もっと身近に図書館を”と願って、市民の皆様様の生活の場へ本を届けるために自動車文庫「わかたけ2号」は今年も、本、雑誌など情報満載で、各地域を巡回しています。どちらもお気軽にご利用ください。



自動車文庫わかたけ2号 巡回日程

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ▼第1コース 5月7日(土)/6月2日 第1木曜日 | ▼第5コース 5月19日/6月16日 第3木曜日 |
| 忠海公民館 10:30~11:30 | 三原農協荘野支店 11:00~11:30 |
| 大乘小学校 12:50~13:45 | 荘野小学校 13:00~13:50 |
| 長浜会館 14:00~14:30 | 東野保育所 14:20~15:10 |
| 雇用促進大乘宿舍 14:45~15:15 | 東野小学校 15:20~16:15 |
| 大乘保育園 15:30~16:15 | ▼第6コース 5月20日/6月17日 第3金曜日 |
| ▼第2コース 5月6日/6月3日 第1金曜日 | 竹原西保育所 10:30~11:00 |
| 喜多崎集会所 11:00~11:30 | 忠海団地竹原生協 13:30~14:20 |
| 福田区民館 13:30~14:00 | 忠海東部保育園 14:40~15:10 |
| 高崎城 14:15~14:45 | 忠海東小学校 15:20~16:10 |
| 中通小学校 15:15~16:15 | ▼第7コース 5月26日/6月23日 第4木曜日 |
| ▼第3コース 5月12日/6月9日 第2木曜日 | 仁賀小学校 10:30~11:30 |
| 吉名公民館 10:30~11:30 | 田万里小学校 13:00~13:50 |
| 宿根生活改善センター 13:30~14:00 | 老人保健施設ゆさか 14:15~15:00 |
| 大井公民館 14:30~15:00 | 賀茂川保育所 15:15~16:15 |
| 竹原西小学校 15:15~16:15 | ▼第8コース 5月27日/6月24日 第4金曜日 |
| ▼第4コース 5月13日/6月10日 第2金曜日 | 吉名保育所 10:30~11:00 |
| 小梨会館 11:00~11:30 | 吉名小学校 12:50~13:50 |
| 安田病院 13:20~14:00 | 吉名沖辺集会所 14:00~14:30 |
| 竹原病院 14:15~14:40 | 竹原小学校 15:10~16:10 |
| 忠海西小学校 15:10~16:15 | |

第1コース(忠海~大乘)は5月7日(土)の巡回になります。ご注意ください

図書館掲示板

5月の行事予定

絵本の会

日時：5月14日（土）10：30～
図書館視聴覚室

読書会

日時：5月25日（水）
13：30～
市民館2F会議室
今回の課題図書は『一葉の恋』
（田辺聖子）です。

5月2日～5月5日の連休を利用して、
館内のじゅうたんクリーニングを行いました。

本との出会いのきっかけに

★2階おどりば ★☆☆

『夢の世界・心の世界 冒険に行きたい
ファンタジーの世界』展

★3階おどりば ★☆☆

『さあ みんなで出かけようさんぽ・おつか
い・ピクニック』展

★3階エレベーター前…作家特集

今月の作家は、代表作『阿弥陀堂だより』など、
あたたかな目で人間をみつめる「南木佳士」さん
です。



ベスト5



貸
出
予
約

バカの壁(養老 孟司)
告白(町田 康)
「喪」を生きぬく(石村 博子)
有元葉子料理と器のおいしい出会い(有元 葉子)
元氣酒 (渡邊 修)

青い国から来た殺人者(西村 京太郎)
ごくせん(江頭 美智留)
傑作捕物ワールド第5巻(縄田 一男)
頭がいい人悪い人の話し方(樋口 裕一)
象の消滅(村上 春樹)

がんばる! たまごにいちゃん(あきやま ただし)
しゅくだい(いもと ようこ)
がたごとがたごと(西村 繁男)
ハリーポッターと不死鳥の騎士団(J.K.ローリング)
ちびまるこちゃんの四字熟語教室(川嶋 優)

ハリーポッターと賢者の石(J.K.ローリング)
ハウルの動く城(D.W.ジョーンズ原作)
かいけつゾロリの大ききょうりゅう(原 ゆたか)
ハードル2(吉富 多美)
みかん畑は生き物の国(大西 伝一郎)

新刊コーナー



こどものほん

モルフ君のおかしな恋の物語

どどこ？セブン5

もっどてきたぜ！

おんぶはこりごり

オーパーツこんなものがなぜ存在する1

点字・はじめての一步

クジラ

最新ロボット大図鑑

時刻表の達人

おもしろからだことば 頭編・体編

ちびまるこちゃんの樋口一葉

森の地図

独学魔法ノート

くまざわくんのたからもの

ドールの庭

C・クヌー

G・ド・ペナール

A・ブラウン

南山 宏

黒崎 恵津子

水口 博也

福岡 健一

石津 ちひろ

阿部 夏丸

岡崎 祥久

きたやま ようこ

P・ビーヘル

BL 出版

自由国民社

評論社

平凡社

岩崎書店

汐文社

金の星社

PHP 研究所

PHP 研究所

草土文化

集英社

ブロンズ新社

理論社

あかね書房

早川書房

E ヌ

E ト

E ヱ

E フ

J20 ミ

J37 コ

J48 ミ

J51 ヌ

J68 フ

J81 イ

J910 フ

J913 ア

J913 カ

J913 キ

J94 ヒ



おとなのほん



文庫本福袋

よく生きよく笑いよき死と出会う

日常生活に哲学は必要だ

この温泉が好きだ！

2008 年破綻する家計生き残る家計

子どもを伸ばすお片づけ

地村保 絆なお強く

お天気なんでも小事典

古民家再生ものがたり

日本一怖いインターネットの本

おいしくてかわいい

「万博」発明発見 50 の物語

探求「鎮守の森」

漫画大博物館

私事

雨と夢のあとに

歴史・小説・人生

ジュークボックス・キング

坪内 祐三

A. デーケン

三浦 朱門 他

日本秘湯に入る会

荻原 博子

辰巳 渚

地村 保 他

三浦 郁夫 他

降幡 廣信

関口 啓貴

伊藤 まさこ 他

久島 伸昭

上田 正昭

松本 零士 他

中村 雀右衛門

柳 美里

浅田 次郎

M. コナリー&O. ペンズラー編

文藝春秋

新潮社

致知出版社

岩波書店

ダイヤモンド社

岩崎書店

主婦の友社

技術評論社

晶文社

明日香出版社

主婦と生活社

講談社

平凡社

小学館

岩波書店

角川書店

河出書房新社

早川書房

019 ッ

114 テ

104 ミ

291.0 コ

332.1 村

379.9 妙

391 村

451 ミ

527 フ

547 ニ

596 村

606 キ

651 妙

726 マ

774 カ

913.6 妙

914.6 ア

933 ヱ

他にも新刊がたくさん入っています。どうぞご利用ください。

目でみる図書館データ 年間利用統計

		15年度	16年度
個人貸出	登録者数	5,832	6,832
	貸出者数	37,873	36,873
	貸出冊数	169,292	178,476
団体貸出	登録団体数	40	82
	貸出冊数	4,874	9,913
定本所	定本所数	27	27
	貸出冊数	41,509	41,509
合計	貸出合計冊数	215,675	229,898

郷土資料紹介

『日高涼台 全』昭和5年発行 日高訥児 編

日高涼台に関する資料は少なく、曾孫の訥児さんが編集された1冊。長崎でシーボルトの門人であった涼台は寛政9（1797）年生まれで、明治元（1868）年に竹原で亡くなり長生寺に墓がある。当時、磯宮神社の前の医院には、名声を聞いて患者が多く集まり、特に眼科に秀れておられたとのこと。訥児さんも、神戸で同じ眼科医院を開業されていた。涼台には著書、訳書も多くあり、この本には漢詩・和歌も収録されており、書もよくしたという。



職員からのおすすめの本

『ニッポンの猫』

岩合光昭 新潮社 2000.3 64517

最近あまりみかけなくなった道端の猫。日常にありふれていた素の猫を（写真家本人も「重症」だと自覚する程に）写し出すネコ好きにはたまらない1冊です。尾道・因島の猫に至っては思わず足を運んでしまいたくなります。同写真家による『地球の宝石』も動物の生彩が映し出される本で、これもまたおすすめの本です。

図書館からのおねがい



- ◆ 本の貸出には利用者カードが必要です。忘れないようご注意ください。図書館の利用者カードは原則市民1人1枚を発行しております。個人のカードとして大切にご使用ください。
- ◆ 住所などの変更がございましたら、お知らせください。本の返却もれにご注意ください。